

地上デジタル放送ホーム受信システム

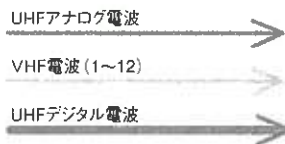
■ 地上デジタル・V・Uアナログ・BS・110度CS受信システム

地上デジタル放送と既存アナログ放送は2011年までサイマル放送されることから、受信機もアナログ放送受信機、地上デジタル放送受信機が併用されます。ホーム受信システムも同様に各部屋のテレビ端子で地上デジタル(UHF)、VHF・UHFアナログ、BS・110度CSなどが受信できるシステムを構築する必要があります。機器の選定にあたってはJEITAデジタルハイビジョン受信マークの付いた機器をお薦めします。

特に留意する機器は、ブースタおよびUU混合器です。ブースタは、地上デジタル放送用のUHF多チャンネル対応型、UU混合器は、

各地域ごとの受信チャンネルに対応した機器を使用します。機器取り付け後、留意する点は、受信レベルを測定しUHFブースタの入力レベルが適正範囲内になるようにUU混合器入力側へ減衰器を入れるなどして、できるだけ均一に揃える必要があります。さらに、地上デジタル放送の送信出力を段階的に増力する地域においては、UHFブースタを設置する際、出力レベルを最大値に設定しないなど、入出力のレベルに注意が必要です。

■ 受信する電波

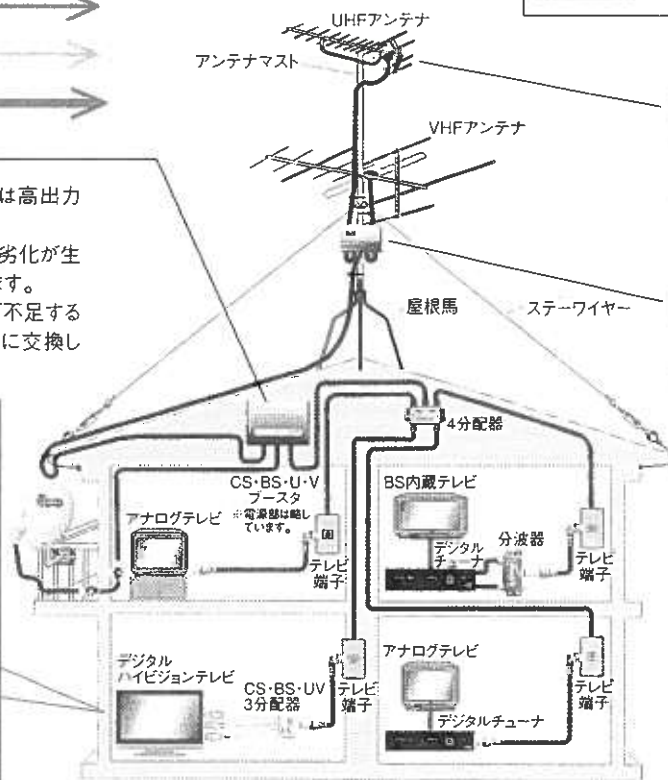
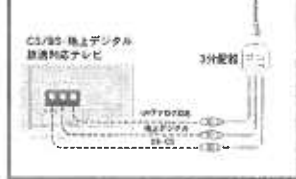


■ ブースタについて

- UVブースタのレベル調整または高出力タイプに取替えます。
- チャンネル数の増加により画質劣化が生じる場合は、出力レベルを下げます。
- レベル調整により端末レベルが不足する場合はブースタを高出力タイプに交換します。

■ 室内のテレビ配線例

テレビコンセントからのテレビ信号を3つに分けて地上デジタル放送対応テレビ(3入力タイプ)に接続する場合



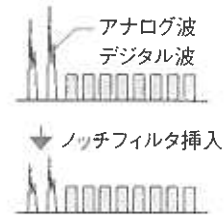
JEITAデジタルハイビジョン受信マーク
DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

■ 受信アンテナについて

- UHFアンテナはオールチャンネル用を使用します。
- デジタルとアナログの放送局が同じ方向の場合、アナログとデジタル両方の電波を受信します。

■ 混合器・フィルタの使用について

- デジタル放送とアナログ放送の方向が異なる場合や、地元局を受信する場合は新たにUHFアンテナと混合器が必要です。
- アナログ電波が強い場合はノッチフィルタをアンテナ出力に挿入しデジタル波とレベルを揃えます。



■ 信号レベルについて

| 信号レベルの目安 [dBμ] | VHF | UHF | | BS・CS |
|-------------------|------|------|-------|-------|
| | | アナログ | デジタル | |
| チューナ入力 | 55以上 | 60以上 | 46~89 | 50~81 |
| テレビ端子出力 | 58以上 | 63以上 | 53以上 | 54以上 |

■ ブースタ混信障害について

- ブースタを使用して地上アナログ放送を受信している場合、デジタル放送の電波が過大なレベルでブースタに入力されると、テレビ画像に障害が発生することがあります。
- アナログ放送画像では画面のザラツキやビート障害が発生したり、デジタル放送画像ではブロックノイズの発生や信号が受信できなくなります。
- この場合ブースタレベルの調整を行うか、調整によりレベルが不足する場合は高出力ブースタに交換します。

■ システムのポイント

- 地上デジタル放送は、UHFの電波を使って放送されるため、受信するには地上デジタル放送用のUHFアンテナと現在使用中のテレビと地上デジタルチューナまたは、地上デジタルテレビを新たに設置する必要があります。
- アンテナの交換が不要の場合でも、ブースタや分配器の受信機器・ケーブルなど地上デジタルに適さない場合は、調整や交換が必要になります。

■ ブースタ入力レベル例

